

（財）やまぐち女性財団支援事業  
**女性リフレッシュ講座**  
**公開講演会開催**

○日時 平成12年12月9日(土)  
 午前10時～11時30分

○場所 改善センター

○演題 「心を合わせて豊かに生きる」

○講師 山口県立大学社会福祉学部

教授 赤羽 潔先生

たくさんのご来場をお待ちしております。

(10月の)

女性リフレッシュ講座より  
**国宝平等院展鑑賞**

深水 隆子

秋晴れの一日、女性リフレッシュ講座十月のテーマとして、九月二十二日から、山口県立美術館で開催された、国宝平等院展へ出かけました。今回の展覧会は、平等院開創九百五十年記念ということで、全国三会場で開かれたのですが、山口は最後の会場で、約六万人近い人々が訪れたということなのです。

会場は、入ってすぐの一番広いフロアに雲中供養菩薩像五十二体、(うち五十一体は国宝)と、鳳凰一对(国宝)が展示されていました。思わずその荘厳な雰囲気圧倒され足が立ちすくんだのを、覚えていきます。平等院鳳凰堂と

いえば、平安時代の雅な時代の建物を想像し、日常的には十円玉の凶柄で知られていいます。藤原頼道が父の道長から譲り受けた宇治の別荘を寺としたものだそうですが、その鳳凰堂の中の長押の壁にかけられているのが、五十二体の雲中供養菩薩像です。床から五、六メートルの高さに懸けられている為、普段は、こんな間近に見る事は出来ないそうです。仏教彫刻の祖と仰がれた定朝とその弟子達で造られた菩薩像は、雲に乗り、それぞれが、いろいろなポーズや表情で、琴や琵琶、笛等の様々な楽器を奏でていたり、舞う姿は、木彫とは思えず、鳳凰像もキリッとして、極楽浄土の様子を観るようでした。コンピュータ・グラフィックスによる、鳳凰堂の鮮やかな当初の彩色を復元した、ビデオ観賞も、その美しさに、とても九百年昔とは思えない驚きを感じました。

天下の三名鐘にあげられる平等院の梵鐘は二メートルにもおよび、銘の守護寺、声の園城寺、姿の平等院とよばれるだけあって、天人や唐草文様が美しく表わされています。

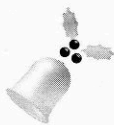
九百年昔とは思えないすばらしい作品ばかりで、時間があれば、何度でも鑑賞したい気持ちになりました。

**きらら情報**

＝ 日置町の日 ＝

日時：平成13年8月2日(木)  
 場所：阿知須町きらら浜やまぐちホール  
 イベント内容：太鼓の演奏(鼓波会)

- (予定)
- 楽踊り(大内山楽踊り保存会)
  - グラスバンドの演奏(日置農高)
  - 重村長治さん写真展
  - PRビデオの放映
  - 特産品の試食及び販売 他



※当日は、無料の貸切バスを運行します(先着順)

＝町の無料マイクロバスをご利用ください＝

期間：開催期間中(平成13年7月14日～9月30日)

行き 8:30 改善センター出発

帰り 16:00 博覧会会場出発

定員：28名

申込み：町内在住で15名以上の団体であれば受付(責任者を必ずおくこと)

申込み受付の開始等につきましては、追ってお知らせします。

＝ 第1期前売券の販売は

**平成12年12月31日** までです。＝

ご購入されていない方はお早めに…

**山口きらら博アテナント**

(会場及び行政出展)の募集

博覧会会場で「楽しく生き生きと“笑顔”」で来場者に心のこもったサービスを提供する山口きらら博のアテナントを募集します。

■ 業務内容

- 会場アテナント  
 会場内での来場者サービス(施設案内、誘導、迷子・忘れ物の取扱、VIP接遇、ゲート改札など)
- 行政出展アテナント  
 行政出展パビリオン等での展示やイベントの説明、案内・誘導など

■ 募集人員

- 会場アテナント 140名程度
- 行政出展アテナント 134名程度

■ 従事期間

平成13年7月14日から9月30日まで(別に研修期間有り)

■ 給与・交通費

- 給与 時給950円
- 交通費 日額1,500円以内で支給

■ 応募締切

平成13年1月15日(月) 当日消印有効

■ お問合せ先

「山口きらら博」アテナント 募集事務局  
 フリーダイヤル 0120-377-816  
 (月～金 10時～18時 除く祝・休日)